

高等専門学校制度創設60周年記念式典 式辞

我が国の高等専門学校制度が創設60周年を迎え、本日ここに、ご来賓の皆様のご臨席の下、記念式典を挙げてまいりますことに感謝を申し上げますと共に、高等専門学校を代表して、ひと言ご挨拶を申し上げます。

高等専門学校は、高度な専門性を持つ「社会の財産」である人「財」を育てる、我が国のユニークな高等教育機関でございます。

今から60年前、我が国の科学技術を支え、さらにその進展を促すため、しっかりとした学術的な基礎の上に、真の実践的な技術を身に付けた第一線の技術者を養成することを目的として、五年間の一貫教育を行う、それまでになかった、まったく新しい学校制度として、昭和37年に誕生したのが、高専でございます。

この60年の間に、高等専門学校も大きく進化を遂げて参りました。現在、国内では「高専(こうせん)」の愛称で呼ばれ、また、海外では「KOSEN」という言葉で認識されております。「KOSEN」は国際語になっています。

また、独自の教育方法と実践力・現場力を兼ね備えた高度な教育レベルが、今や、産業界はもちろんのこと、教育界、さらには、国際社会からも高く評価をされ、注目されております。

皆様もご存じのとおり、高専では、中学校卒業後の感受性の強い15歳という若い段階から、講義に加えて、実験、実習、実技、さらには、高専特有のロボットコンテスト(ロボコン)、プログラミングコンテスト(プロコン)、ディープラーニングコンテスト(DCON)など、コンテストを活用することによって、創造性と実践性を兼ね備えた技術者(エンジニア)や起業家を育ててきました。

このユニークな高専教育は、発想の柔軟性と創造力、主体性と豊かな国際感覚を持った技術者の育成に、効果を発揮しています。

また、日本が誇る「モノづくり」の人材はもとより、最近では、新しい価値を生み出す「コトづくり」を担う高度な技術者や起業家の育成にも寄与しています。

こうした、全人教育と何事にもチャレンジすることを大事にする人材こそ、世界が注目している「高専スピリット」と呼ばれる高専教育の真髄であり、国際社会から高く評価をされている所以と言えます。

今日、国際社会を取り巻く環境や、社会の産業構造は大きく変化してきております。

高専は、社会のグローバル化や、急速に進化・発展をしている学術の世界、日々変貌している産業分野などにおける、新しい時代の様々な課題に対して果敢に挑戦をして参ります。常に、新しい時代を見据え、その時代の要請に応えた人「財」(これは、社会の宝としての人「材」です。人「財」)を育成するために、高専は、いつの時代も、若者が切磋琢磨する【学びの場】であり続けたいと考えています。

高専は、これからも、その教育研究をとおして、社会を適正かつ健康的に発展させ、人類にとって幸福で豊かな未来を創造する、言わば、世界に誇る高度な「社会のお医者さん」、すなわち「ソーシャルドクター」、「クリエイター」、「イノベーター」といった、社会を担う人財を育成して参ります。

結びに、本日、大変ご多忙の中をご臨席いただいた、ご来賓の皆様、改めて、心より感謝を申し上げますとともに、今後とも私たち高専への一層のご指導、ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。

本日は、誠にありがとうございます。

令和4年11月16日

国立高等専門学校機構理事長 谷 口 功